

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)	良くなる	スーパー（店長）	・3月いっぱい消費増税前の駆け込み需要があるので、それまでは業績が上がる。
		コンビニ（経営者）	・2月の降雪が心配だが、人が動きだし始める春はもうすぐそこである。功を奏している品ぞろえの充実と廃業対策の両立も進化させたい。
		家電量販店（店長）	・3月までは消費増税に伴う駆け込み需要が続くと判断しているが、商品の供給が心配である。決算期を迎え、企業は在庫にシビアになるため、供給バランスが保てるか懸念が残る。
やや良くなる		商店街（代表者）	・現在、駅前の周辺を改修しており、3月にはバスの駐車場が出来上がる。観光客が増えるのではないかと期待している。
		商店街（代表者）	・2月から新学期の販売も始まり、4月からは新入生も入るのでかなり良くなる。
		商店街（代表者）	・3月までは消費増税前の駆け込み需要が見込めるが、4月以降の景気は後退する。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費増税絡みの客の動きが期待できる。
		百貨店（営業担当）	・2、3月は消費増税前の駆け込み需要で売上は伸びると思うが、4月以降はその反動減で若干のマイナスが続く。その先は何とも言えない。
		百貨店（店長）	・少し売上が上向いている。
		スーパー（商品部担当）	・消費増税及び商品の値上げ傾向により、各小売企業において仕掛けが多くなり、競争が激しくなることが予想されるので、購買意欲が増すのではないかとと思われる。
		コンビニ（経営者）	・春の兆しと共に心理的にうきうきしてきて、ある程度来客数が増えてくるのではないかと期待している。また、節分やバレンタインなどのイベントにも乗じて上昇できればと願っている。
		コンビニ（経営者）	・現在の状況よりも3か月先のほうが客がコンビニを利用する頻度が多くなるからである。
		乗用車販売店（経営者）	・3月までは自動車の購入や車検の駆け込み需要があり、売上は伸びそうである。
		乗用車販売店（従業員）	・消費増税前の駆け込み需要により販売量は増えているので、それまでは好調に推移する。
		住関連専門店（経営者）	・消耗品において消費増税前のまとめ買い現象はいまだに認められないが、今後発生してくると思われる。この現象は、これまでの経験から、ひとたび起こると急激に広がる傾向があると思われる。
		住関連専門店（店長）	・消費増税前の駆け込み需要があり、3月まではやや良くなると思うが、4月以降の落ち込みが心配である。
		一般レストラン（経営者）	・4月から消費増税、それに伴う仕入原価の高騰、メニュー価格の見直しによる客の反応が先行きの不安材料である。
		通信会社（営業担当）	・新築物件など高額案件に関しては、消費増税の影響で販売数の増加が期待できるため、一時的な売上増が期待できる。
		通信会社（局長）	・アベノミクスに関してはまだその効果が表れていないという周囲の多くの意見と同様に、地方都市はこれからという考え方が定着している。わずかながら個人消費の拡大傾向が実感できつつあるので、願望も含め、将来に大いに期待したい。
		遊園地（職員）	・富士山の世界遺産登録の効果もあり、今後も引き続き多くの客の来園を期待している。
		ゴルフ練習場（経営者）	・3月に消費増税対策のイベントをどこでも考えているようである。
		設計事務所（所長）	・来月のイベントを控えており、多数の集客を狙う予定であるので、今月よりは多少数字的に良くなることを期待したい。
		住宅販売会社（従業員）	・周辺の別荘同業者に若干動きがあり、新築物件の引き合いもあると聞いている。
変わらない		商店街（代表者）	・消費増税前の駆け込み需要でも買い回り品に対しては慎重な様子が見えかける。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・消費増税前だが、買いためという話は全く聞かない。諦め模様というか、余裕がないようである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費増税前の駆け込みを狙いたいところだが、消費者は冷静な判断をしている。必要に迫られての購入はあっても、4月以降の様子をしていることがうかがえる。

百貨店（販売促進担当）	・ 2、3月は、消費税増税前の駆け込み需要に期待できるが、消費税増税後の反動を考慮すると通期ではプラスに転じず、むしろ消費マインドの低下が懸念される。
百貨店（販売促進担当）	・ やはり3月は消費税増税前の駆け込み需要がある程度予想されるため、一時的な増加も期待できるが、4月はその反動減も十分予想できるので、トータルではあまり変わらない。
百貨店（店長）	・ 食料品で高品質、安全、安心な品物は継続して売れているが、身の回り品の高額商品は取り扱っていないため、駆け込み需要に大きな影響はない。ベースアップの話題はあるが、中小業者が多い地方への浸透はこれからである。
スーパー（総務担当）	・ 消費税増税前の駆け込み需要は期待できるが、その後どれだけ影響が出るのかがみえない。ただ、消費税が5%に上がった時ほどの影響はないような気がするので、状況は変わらない。
スーパー（統括）	・ 消費税増税前の駆け込み需要、及び増税後の影響は1997年と比較すると限定的で、公共料金の値上げなど経済活動を抑制するようなフィスカルドラッグがない分、景気の戻りは早い。
コンビニ（経営者）	・ 店舗前が新しい道路になって4か月が過ぎても客が戻らないので、今後はこのままいってしまう気がする。
コンビニ（経営者）	・ 楽観視はできないが、オリンピック効果やアベノミクス効果が少しずつ表れてくる。ただし、問題は消費税増税の反動である。駆け込み需要の後の反動をどこまで抑えられるか、まだ一般消費者には3%の増税分を吸収する力はないような気がする。
コンビニ（店長）	・ 一般的には消費税増税前の駆け込み需要といった話があるが、当店の場合そこまでの影響というのは特にはない。客も日々使っているものを消費するという程度で大きな変化はないような気がする。
衣料品専門店（統括）	・ 商売というのは1年を通してすべてが良いということではないかなと思うが、冬のこの時期と夏の暑くなるまでは少しブランクがあるのかと思っている。いろいろと街の活性化に取り組んではいるが、なかなかこれといった良い成果は得られていない。個店で頑張るしかないのかなと感じている。
家電量販店（営業担当）	・ このまま高水準でいけば良い。東京オリンピックまでは期待したい。
乗用車販売店（営業担当）	・ 3月までは何とか見込めるがそれ以降は全く予想がつかない。
乗用車販売店（管理担当）	・ 4月の消費税増税を控え、駆け込み需要の動きがある。
一般レストラン（経営者）	・ 4月には消費税も上がるので、消費者の財布のひもはなかなか緩んで来ない。特に、地方においては、好景気の実感を感じられない状態である。
一般レストラン（経営者）	・ 時節がそれぞれの団体、企業のトップの話を聞くことが多いが、こぞって上向き傾向にあると口にするため、そうなのかと錯覚している気がするが、消費税増税を境にそれぞれの明暗が分かれるように思う。
観光型旅館（経営者）	・ 消費税増税後の需要減で景気が一時的に悪くなるため、休暇を取って旅行をする人が増える一方、しばらくは旅行を控える動きもあり、そのバランスで旅館の景気は停滞する。
都市型ホテル（営業担当）	・ ここまで徐々に良い状況になってきたように感じているが、この先は消費税の影響もあるので今以上に良くはならない。ただし、現時点より下がるということもはっきりとは分からない。
都市型ホテル（副支配人）	・ 業種的に消費税増税による駆け込み需要等は期待できない。ここ数か月、売上の的には前年実績をどうにか維持している状態である。先の予約状況等から判断しても、ほぼ前年並みとなりそうな状況である。
旅行代理店（従業員）	・ 引き続き、為替変動が大きく出ているため、変わらない。
タクシー運転手	・ 2月は毎年悪く、期待できない。3、4月は歓迎迎会などで、少しは動くこと期待したいが、恐らく期待外れになる。
タクシー（経営者）	・ 12月から1月の中ごろまでの動きは良かったが、後半から動きが悪くなりだしたので、この先良くなるか悪くなるかの見通しは予測できない。
通信会社（経営者）	・ 円安が続くとなれば輸入品を取り扱う業種は逆風である。政策で円安にしているのだから、バランスを考慮すべきである。デフレ脱却というが、販売価格は確かに高騰しているが、仕入価格も高騰しているため、利幅はむしろひっ迫している。適正な利益を確保して販売しても物が売れるのがデフレではないだろうか。所得が上がるどころか人員削減を考えざるを得ない。

テーマパーク（職員）	・降雪がないことから現在は安定しているが、大雪になると悪くなる可能性がある。
ゴルフ場（業務担当）	・2～3か月先の予約の取込みも今のところ順調に引き合いが来ているので、同じような形で前年を上回るような入場者が確保できると見込んでいる。ただし、売上が伴うかは不確定である。また、消費税増税後の客の商品の購買や食堂利用等での消費についてはまだ読めない部分がある。会員募集については、今のところ駆け込み需要はまだ表れていない。4月以降は消費税分が自動的に支出にプラスとなるので、その反応がどう出るのか今のところ分からない。いずれにせよ引き合いは順調にきている。
競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪の売上が前年度と比較してもほとんど変化がみられないからである。
その他レジャー施設 【アミューズメント】 （職員）	・ここ最近では上向きではあるが、消費税の増税等もあるのでしばらくはそのまま推移するのではないかと考えている。
美容室（経営者）	・2月は毎年売上が減少する月なので、営業をしっかりとし、売上増加対策を講じないと売上は増えない。少し景気も良くなりつつあるので、客の要望にこたえてエステやメイク、ネイルなどのメニューを用意するなど対策をし、提案して営業を増やさなければ売上が増えない。
その他サービス【立体 駐車場】（従業員）	・消費税増税前で家電量販店の売上等が増えているようで、来客数も増えているが、4月になると一段落してしまうため、先行きは変わらない。
その他サービス【イベ ント企画】（職員）	・先行きを警戒する動きはまだ強いと思われるため、変わらない。
設計事務所（経営者）	・年度末、消費税増税前の3月までは忙しい。
やや悪くなる	
一般小売店【青果】 （店長）	・景気が上向き様子は全然感じられない。アベノミクスで円安が進み、ガソリンなどの経費部門が増加することによって、ますます悪くなっている。
百貨店（営業担当）	・消費税増税前の駆け込み需要後の反動、消費マインドの低下でやや悪くなる。
百貨店（店長）	・4月の増税を境に将来不安等も払しょくされていないことから、少なくとも数か月は低迷すると考えている。
スーパー（経営者）	・競争の激化で、やや悪くなる。
コンビニ（経営者）	・来客数は以前より伸びているものの、客の財布のひもは固く、客単価が持続的に下がっているため、先行きはやや悪くなる。
乗用車販売店（経営者）	・消費税増税後の反動減が始まっていると思われる。
乗用車販売店（経営者）	・やはり消費税増税や中小零細企業の社員の所得が変わらないことで、将来の生活設計の目途が立たないため、購買意欲の減退が続くとみている。そのような状況でも、当社は4月にはベースアップをしなければならない。
乗用車販売店（販売担当）	・消費税増税前の駆け込み需要の反動で、4月以降は販売台数が落ち込むのではないかと懸念している。現在も輸入車の中古車、新車販売は横ばい状態なので、消費税が上がると販売台数が伸びなくなってしまうのではないかと、不安に感じている。
乗用車販売店（統括）	・消費税増税の影響を受けると予想されるためである。
自動車備品販売店（経営者）	・8%の消費税率が3か月後には施行されるので明らかに販売は落ち込む。整備に関しては7年前のリーマンショック後と3年前の東日本大震災後の車検がちょうど重なって来る年だが、かなり厳しい状況になると予想している。黙っていると良いことは何もないので、頑張るしかない。
住関連専門店（仕入担当）	・4月以降の消費動向は一時的にせよ冷え込むことを想定せざるを得ない。特に、生活用品は無駄な購入をしない消費者が増えると思われる。
高級レストラン（店長）	・高品質の料理を千円以下のリーズナブルな価格で提供してきたが、低価格競争が激しく、ランチタイムは営業してもとても採算が合わない状況である。
一般レストラン（経営者）	・消費税率の引き上げによる消費の停滞を予感している。
スナック（経営者）	・落ち込んでいる理由がよく分からないのだが、消費税増税前の駆け込み需要の方にお金が出てしまっていて、飲食には回っていないのか、もう少し様子を見たい。
スナック（経営者）	・本当は良くなると回答したいところだが、2～3か月先という消費税のこともあって悪くなるのではないかと感じている。
観光型ホテル（営業担当）	・宴会、婚礼など高額な利用について、消費税増税による利用控えを懸念している。

		都市型ホテル（スタッフ）	・4月から消費税の問題があるので、料飲関係に関しては今よりは悪くなる。消費税の対応で、内税表示にするか今検討中である。景気は決して良くなっているとは思えない。
		旅行代理店（所長）	・消費税増税前は駆け込み需要が見込まれて当然だが、百貨店などで宝飾品や絵画などを中心に高額品が大幅に伸びているのに対し、旅行はそういう傾向にない。やはり、資産として保管できるものでないと厳しいのかもしれない。
		旅行代理店（副支店長）	・もちろん消費税増税で3月までの駆け込み需要はあると思うが、それ以降については一旦、客数や受注は落ち込むと思われる。現に3月までの受注は前年より良いが、4月以降の受注や申込、旅行相談などが減っている。消費税増税以降の旅行者の減少を懸念している。
		タクシー運転手	・運行回数は同じだが単価が下がっているということは、夜に外で飲む客、要するに長距離の客がいなくなっているということである。
		通信会社（経営者）	・ガソリン、灯油などの値上がりが続いていると共に、消費税増税などで節約志向がさらに強まってきているので、解約が増えることを心配している。
		ゴルフ場（支配人）	・寒さのため来場者数は少ない。また、隣県のゴルフ場がすべて閉鎖しているため、周辺ゴルフ場との値引き競争が相変わらず続いている。消費税増税により消費が落ち込み、ゴルフをする気分にならないため、来場者は減少する。
		設計事務所（所長）	・3か月先は4月で新年度となり消費税増税が始まる。今月でさえ仕事の情報がなくなってきているので、消費税増税が始まる4月に建築を計画する人がいるとはまず考えられない。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税が増税され、一般の消費と共に買い控えになることが予想されるので、一時的に景気は低迷する。
	悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・来月には市長選挙と市議会議員選挙が行われる予定なので、市中の動きは少なくなり、残念ながら経済的には停滞する。
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・消費意欲が改善するような施策がない。
		コンビニ（店長）	・消費税増税の影響で、買上点数が減少し、買上金額も当然減少すると思われる。また、商店街の老齢化が大変進んでおり、活動する人員が限界を割りつつあるため商店街そのものの解散という話も出ている現状では、良くなる予想はまるで立たない。
		衣料品専門店（経営者）	・消費税増税が予定されているほか、このところの灯油、ガソリン代、電気料金等の生活関連物資とサービスの値上げが影響しているため、先行きは悪くなる。
		衣料品専門店（販売担当）	・消費税が上がる4月1日に向けて高額品は確かに駆け込み需要が相当出てくると思うが、当店のような婦人服関係は置き去りになっていき、かなりスピードアップして悪くなっていくような感じを受けている。夏に向けて相当ひどい状況になっていくのかなと懸念しており、今から店をどう存続させていいのか手探りを続けているような状況である。
		乗用車販売店（販売担当）	・3か月後には消費税が8%に上がる。5%のうちに買っておこうという客は前倒しで買っているため、前回のエコカー補助金の時と同じように動きが止まる。
		乗用車販売店（店長）	・消費税増税、エコカー補助金終了は自動車販売だけでなくいろいろところで影響が出てくる。消費税増税分の値引き、金額調整などで赤字になる企業も出るかもしれない。
		通信会社（経営者）	・年度末から次年度にかけての受注予測が困難である。自社の業種の幅を広げる以外に生き残る道はなさそうである。
		通信会社（営業担当）	・消費税増税前の駆け込み需要も幕を閉じ、元のさやに収まる。4月以降の需要は全く予想できない。
企業 動向 関連 (北関東)		良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）
	やや良くなる	食料品製造業（営業統括）	・県の観光推進機構が導入したワイナリーを定額で巡るワインタクシーが好評で、来客数が増加している。また、和食に合う甲州ワインも順調に採用されており、今後更なる増加が期待できる。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・2～3か月先までは順調に仕事もあるとみている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・近隣の自動車メーカーからボリュームのある増産応援要請があり、フル生産で対応する予定である。また、自動車の試作関連の案件も増加傾向にある。油圧建設機械、特にショベルカーの動きは現状良くないものの、中国の春節明けに上向くことを期待している。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・ユーザー対象の展示会企画が多くあるので、2、3月は駆け込み需要が見込まれる。

	建設業（開発担当）	・10年続いた厳しい状況から、現政権の経済政策のおかげで一息つける。ただし、消費税増税後の景気にはやや不安がある。
	経営コンサルタント	・大手企業関連の下請の中で若干好調さを見せている企業もある。地域の企業に少しずつ、まだら模様の良い影響が現われているところもある。
	司法書士	・年始に来る客の顔が少し明るくなってきている感じがするので、多分これから上向くのではないかと考えている。
変わらない	化学工業（経営者）	・3月の期末に向けた駆け込み需要がいくらか出てきているが、大して期待できない。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・年度末で贈答品の動きに多少期待をしているが、予想は難しい。
	金属製品製造業（経営者）	・1月は労働日数が少ないため、売上自体は少なかったものの、持ち直している感じがしている。今後の動向に注意したい。
	一般機械器具製造業（経営者）	・昨年の4月ごろから10月までは受注量が徐々に増加していたが、11月になると増加が止まり横ばいになってしまい、いまだに採算性は悪いままである。
	電気機械器具製造業（経営者）	・現時点では当社の主要取引先に大きな動きはみられない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・厳しさは変わらず続く。営業努力あるのみである。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・現在は受注、生産量共に確保しているが、消費税増税によるこの先の景気への影響が非常に不透明である。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・昨年1年間をみても、非常に悪い月はなかったが、取引先や仕事量について、まずまずかちょっと悪いが、非常に良いかの乱高下だったので、2～3か月先の見通しはなかなか難しい。
	輸送業（営業担当）	・年度替わりを迎え、新社会人、学生や転勤等の移動による引越依頼が徐々に増え、消費税増税前に前倒しで早めに動きが出ている状況である。そのような中、各協力会社の車両等の確保は大変厳しくなり、コスト的にも高く、利益は薄くなっている。
	金融業（調査担当）	・製造業では米国を中心とした海外需要が順調に推移するほか、国内では3月末に向けて非製造業の消費税増税前の駆け込み需要が高まるとみられる。
	金融業（役員）	・車の部品生産、公共工事を受注した建設業の会社は若干仕事があるが、それ以外は個人消費も含め、消費は非常に低迷している。一つの目安は春闘の賃上げかと思っている。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・売上に目立った変化がなく、このまま推移しそうである。経営者や店主の中には、賃上げに慎重論が聞かれる。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・売上に特段の変化はみられない。ただし、消費税増税がどう影響してくるのかという不安要素もある。
やや悪くなる	食品製造業（経営者）	・4月からの消費税増税がどう影響するか不安である。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・消費税増税のために事前に印刷物を作るということは、4月になってからはその分が落ち込むと予想される。
	電気機械器具製造業（経営者）	・住宅は3月末までに完成すれば消費税が5%であるため、増税後は受注量が激減すると予想している。4月からが頭痛の種である。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーの3か月見通しによると、受注関係についてはやはり高水準を保っており、繁忙感はあるが、収益状況は非常に厳しくなっている。特に、燃料代が上昇しているほか、いろいろな消耗品、経費関係も上昇傾向に入ってきているということで、収益面が非常に圧迫され始まっている。増収減益がはっきり表れてきているということで、非常に厳しくなってきている。
	建設業（総務担当）	・消費税増税の影響が少なからずあると思われる。
	通信業（経営者）	・消費税増税や電気料金の値上げ等、良くなる要素がない。
	金融業（経営企画担当）	・4月の消費税増税に伴う消費の反動減を懸念している。
	不動産業（管理担当）	・委託内容は現状維持でも、取引先にコスト上昇分の値上げをお願いし、受け入れてくれるかどうか不透明である。消費税増税分も懸念材料である。
	社会保険労務士	・かさばらない物や日持ちする資材などは消費税対策で発注を駆け出している。4月以降は一時的に影響が出ると思われる。
	悪くなる	食品製造業（製造担当）
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・資金繰りが大変で、支払のやり繰りに四苦八苦している。

		不動産業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・二極化がかなり進んでおり、消費等にも偏りがみられる。数の多い層の経済的な状況はさらに厳しくなり、消費は抑制傾向にある。先行きの不安定な要素も多い。よって、経済の基盤がぜい弱化している状況はまだ止まっていない。
雇用 関連 (北関東)	良くなる	人材派遣会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・久し振りに大口の仕事が入り、今は本当に忙しい。3か月先が楽しみである。
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話、スマートフォン関係の細かい電子部品等と、家電関係の電機部品の組立てや製造加工、こういったところの求人は伸びていくと見込んでいる。これは消費税増税等に伴う駆け込み消費で購買力が上がってくるものと思われる。衣料品等は季節の変わり目でまだ寒さも厳しいため、一進一退である。サービス業は全般的に求人数が増えてきている。
		人材派遣会社（管理担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・期末のため、スポット的な臨時の仕事が増えると予測している。
		人材派遣会社（支社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・求人の引き合いは多くても、動かせる人材が少ないのが現状である。これ以上続けば、人手不足感が強調されすぎてしまい、採用意欲に水を差す可能性もある。
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・管内企業の動向をみると、タクシー会社の年末年始の売上が昨年、一昨年と比較して上がり、大手自動車メーカーからの受注が増えた自動車部品会社ではラインを増設、大手電子部品メーカーは円安により利益が出ているなど、明るい材料を提供する企業が増えている。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・求人、求職などの状況から考えると改善してきたような感じがあるが、周辺企業の現況を聞くと受注はあるものの先の見込みが読めず厳しいという声ややはり聞かれている。状況的にはやや良くなってきた感じだが、依然厳しい状況の企業もあることから全体としてまだ変わってきていない。
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・極端な落ち込みはないものと思われるが、消費税増税の影響による一時的な停滞が懸念される。
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に向け、いくつかの企業で人員整理を行う予定との情報がある。1年～1年半先に大手企業の撤退が予定されており、そのことも一部では影響しているようである。しかし、土木建築、介護福祉、食品製造業などでは人手不足感が強く、求人も安定しているなど、業種間の格差が大きい。4月には消費税増税もあり、求人側からも不安な声は聞こえてくるが、全体的には大きな変化なく推移していくものと感じている。 	
	民間職業紹介機関（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税増税の影響を懸念して、企業は正社員求人については慎重な姿勢を崩していない。 	
	学校 [専門学校]（副校長）	<ul style="list-style-type: none"> ・就職が確定していない学生に対する就職あっ旋支援の情報が多くなってきている。全国的にも地域的にも内定率の伸び悩みの状況であることが予想できる。今後の求人増加傾向は感じられない。 	
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	-